

## 若い感性發揮 見せ方も工夫

明石市の高校生と大学生が中心になって、絵画などの制作から展示までを一貫して担う作品展「第3回あかし若手アートチャレンジ」が文化博物館（同市上ノ丸2）で開かれている。新型コロナウィルスの感染拡大が創作活動に影を落とす中、見せ方にまで学生のこだわりやセンスが光る和洋画や造形作品など66点が並ぶ。

芸術文化の多彩な分野で活躍する人材育成を目指し、同館が2017年から取り組む事業。同館学芸員が学生に助言しながら一緒に作品展をつくり上げる。

### 高校、大学生が作品展

文化博物館「アートチャレンジ」

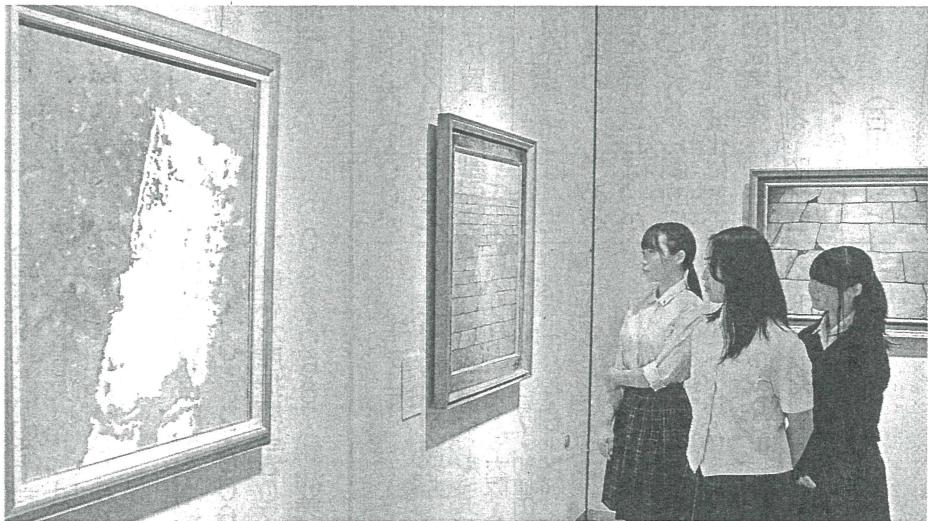
#### 「若い人に見てほしい」

告知ポスターの「デザインは明石高3年の安座間桜さん(18)が担当。「若い人にも興味を持つてもらえるように」と同年代の少女が絵を描く様子を日本画の技法で仕上げた。

今回は明石商業高、明石南高、明石高、神戸芸術工科大の58人が参加。会場では生徒が自作品を紹介する動画を流すなど展示の仕方にも工夫を凝らす。

明石高3年の枝廣花音さん(18)は「地面」をテーマに、路上に散った桜の花びらに春の光が差す光景を描いた。「コロナ禍で一人で作業をする時間が長く、他の作品を見て刺激になつた。絵を見て温かい気持ちになつてもらえたら」と話す。

10月11日まで。無料。午前10時(午後5時(最終日は午後3時まで)。月曜休館。同館☎078-918・5400 (川崎恵莉子)



市内の高校生と大学生が手掛けた作品が並ぶ=明石市上ノ丸2